

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 3月 25日

事業所名 すてっぷ小塚

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	4		・児童発達向けのイラストや写真を用いた掲示物が不十分に感じるので、職員同士話し合って改善に取り組んでいく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2		・振り返りを密に行っているが、メモの取り忘れや、職員一人ひとりの認識の違いが見られる事があるので、今より良い振り返りを心がけていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3		・HPIに載せてはいるが、保護者への周知にまで繋がっているかと言われると、そうでもないと思われるので、お便りにURLを載せる等して周知の徹底を行っている
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	8		・第三者を設置しているが、外部評価を行えていないので、今後は定期的な外部評価を行っている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・他事業所へ出向き、研修を受けたり、最近ではリモートでの研修も積極的に受けている。	
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		・積極的に保護者と連絡をとり、情報収集、ニーズの確認を行っている。	・時々職員と保護者のニーズの違いが見られる事があるので、今後はすり合わせに注意して対応していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・リーダーを曜日を設定せず、いろいろな曜日に当たるように順繰りで行っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・曜日によって児童の カラーに違いがあり、 一人ひとりが楽しかった、 次もまた来たいと思えるよう に工夫して	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜 組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			・役割を分担し、支援を行っているが、臨機応変にヘルプに入ったり、職員へ必要ならば指示を出し、より良いチーム支援に繋げたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	・朝、夕2回の振り返りを毎日行っている。	・パートさんや休みの職員に上手く振り返った内容が伝わってない事があるので、ノートを使って周知徹底に繋げたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		・記録は毎日取るが、内容が簡潔すぎる事があるので、5w1hを意識した記録の取り方を進めていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		・各児童に担当職員をつけており、管理者と一緒に参加するようにしている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		・お便り帳や、関係機関からのプリント、HPやLINEを使って情報の確認を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		9		・看護師の配置が出来ておらず、現在は医ケアの児を受け入れる事が出来ていないので、対応を考えていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		9		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	8		・会議を通して助言を受ける事はありますが、回数としてかなり少なく、事業所として課題に感じる。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	8		・事業所同士の交流はほとんど出来ていない。外出時の公園などで知らない他児と一緒に遊ぶといった交流はある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		9		・全く参加できていないので、市役所のHP等を参考に今後参加を行って
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		・お便りやLINEを使って情報の確認を行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	3	・研修で学んだティーチャーズトレーニングの資料を参考に支援を行っ	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9		・コロナ流行の影響で保護者会は開催できていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	・月1回お便りを発行し、日ごろの子供たちの様子を見てもらっている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		・児童一人ひとりの特性を考え、聴覚支援の声かけや、ホワイトボードを使った視覚支援等を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		9		・コロナ流行の影響で開かれた事業運営は行えていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1	・定期的にマニュアルを確認し、対応している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	3		・数多く避難訓練を行っているわけではないので、今後は定期的に数をこなして災害に備えられるようにしていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	3		ささいなヒヤリハットを見過ごしがちになっていないか日々振り返りを行い、今後対策していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		・定期的に虐待防止についてのプリントを読み合わせし、意識づけを行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。